

# なごや丸ごとと鳥さがし!!

身近にすむ野鳥を、専門家と

いっしょに 調べてみませんか?

## なごや生きもの一斉調査・2011 野鳥編 募集要項

**開催日** 平成 24 年 1 月 29 日(日)

午前 8 時 30 分～ 11 時 30 分、藤前干潟のみ午後 1 時～ 4 時

**会場** 名古屋市内 30 箇所

**対象** どなたでも参加可能です。(小学生以下は保護者同伴)

**定員** 計 600 名程度 (会場ごとの定員は、各会場の紹介欄をご覧ください。)

**申込締切**

平成 24 年

**1 月 17 日(火)**

**必着**



**主催：なごや生物多様性保全活動協議会**

**協力：日本野鳥の会愛知県支部**

**【問合せ先】 なごや生物多様性センター (なごや生物多様性保全活動協議会事務局)**

- 住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地
- 電話 052-831-8104 (受付時間：平日(12月29日～1月3日除く)の8:45～17:30)
- ファックス 052-839-1695
- 電子メールアドレス bdnagoya@kankyokyouku.city.nagoya.lg.jp

# なごや生きもの一斉調査・2011野鳥編 **なごや丸ごと鳥さがし!!**

多くの参加者を募り、これまでにない規模で、なごやの野鳥の調査を実施します。  
市民と専門家が協力し、名古屋市内 30 箇所で見られた野鳥の種類と数を記録していきます。

身近なところにすむ野鳥についてより多くの方に知っていただき、また、身近な自然の現状について関心を持って見ていただくきっかけとします。

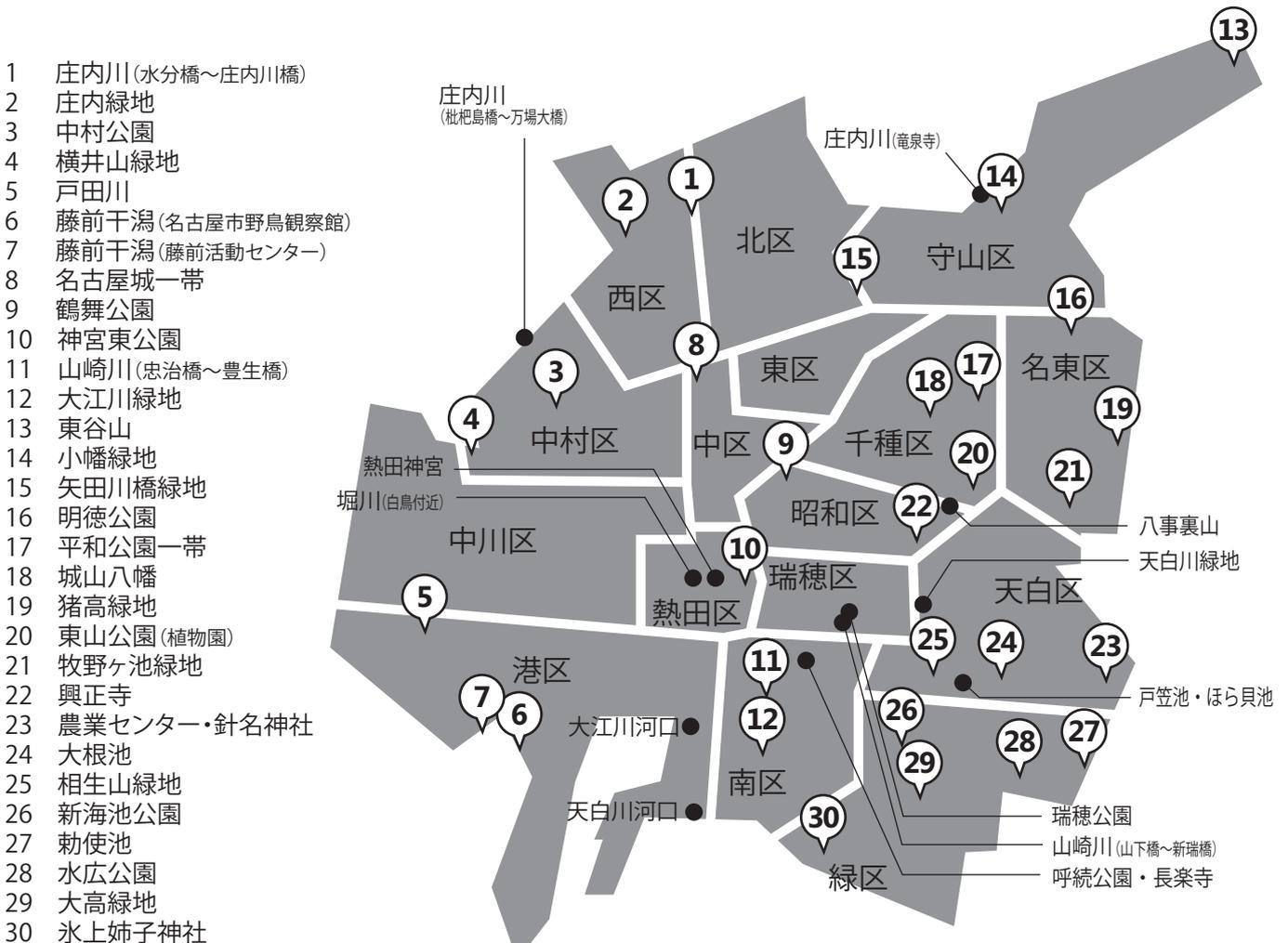
野鳥に詳しくない方でもお気軽にご参加ください。  
多くの皆さんの応募をお待ちしています!!

さらに、専門家のみで約 10 箇所の調査を追加で実施するほか、同じ日にご自身で野鳥調査を実施してくださった場合にも、一斉調査の結果に反映いたします。事前に、裏表紙に記載している「申込先」までお気軽にご連絡ください。

## 調査地点マップ

参加者を募集する 30 箇所の調査地点です。

名古屋市が概ね 5 年ごとに実施している名古屋市野鳥生息状況調査の調査箇所を中心に実施します。  
(生息状況調査の報告書「名古屋の野鳥」は、市民情報センター、名古屋市野鳥観察館などで販売しています。)



# 調査地点一覧

<p><b>1</b></p>	<p><b>庄内川(水分橋～庄内川橋)</b></p>	<p>定員： 10名</p>	
<p>水面には冬季にカモ類が多く観察され、特にヒドリガモの数が多い。河川敷ではヒバリやキジ、サギ類、セキレイ類の姿をよく見ることができる。里山等、森林の少ない名古屋市北区にあっては、貴重な場所であるといえる。</p>			
<p><b>アクセス</b> 地下鉄鶴舞線「庄内緑地公園」下車 徒歩 5分</p>			
<p><b>2</b></p>	<p><b>庄内緑地</b></p>	<p>定員： 40名</p>	
<p>ヤマモモ、クスノキ、アラカシ、サクラなどの樹木が多く、野鳥の憩いの場となっている。カワセミ、コゲラが繁殖し、年中観察される。シロハラ、アカハラ、ツグミ、ベニマシコ、アリスイ、トラツグミが越冬する。オオタカ、ハヤブサ、トラフズクが確認でき、池や川ではカモ類、サギ類、シギやチドリ、キジも見られ、一年中楽しめる。</p>			
<p><b>アクセス</b> 地下鉄鶴舞線「庄内緑地公園」下車 すぐ</p>			
<p><b>3</b></p>	<p><b>中村公園</b></p>	<p>定員： 10名</p>	
<p>鳥類は年間で 27 種を数え、春・秋の渡りにはセンダイムシクイ、クロツグミ、エゾビタキ等が見られる。冬はシロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、コゲラ等が見られる他、太閤池ではカワセミが見られることもある。庄内川が近いため上空を飛ぶカワウ、ダイサギ等も観察できる。</p>			
<p><b>アクセス</b> 地下鉄東山線「中村公園」下車 徒歩 5分 または 市バス「豊国神社」下車 すぐ</p>			
<p><b>4</b></p>	<p><b>横井山緑地</b></p>	<p>定員： 10名</p>	
<p>広い緑地ではないが、野鳥のエサとなる昆虫や実をつける樹木が多い。特に桜林では、春と秋の渡りの季節にケムシを狙う多くのヒタキ類やツツドリが見られる。堤防を上った庄内川では、冬にカモ類が多く、ミサゴもよく見られる。河川敷にはホオジロ類が多い。</p>			
<p><b>アクセス</b> 市バス「横井町」下車 すぐ</p>			
<p><b>5</b></p>	<p><b>戸田川</b></p>	<p>定員： 10名</p>	
<p>戸田川は平坦な田園地域を蛇行して流れている。そのため田畑で見られるサギ類やケリなどがよく観察される。渡りの時期にはキビタキなどが羽を休めているものと思われる。カイツブリやカモ類やバンの姿も見られる。</p>			
<p><b>アクセス</b> 市バス「戸田川緑地」下車 すぐ</p>			
<p><b>6</b></p>	<p><b>藤前干潟(名古屋市野鳥観察館)</b></p>	<p>定員： 40名</p>	
<p>干潮時には河口に広大な干潟が現れ、春、秋には多くのシギ、チドリ類など渡り鳥の中継地になっている。春から夏にかけてコアジサシのダイビング、冬から春にはカモ、カモメ類の大群や越冬中のダイシャクシギ、川岸のヨシ原では冬にオオジュリン等の冬鳥が見られる。観察館の近くの川岸では人馴れしたユリカモメやオナガガモ等がエサをもらうため多く集まってくる。</p>			
<p><b>アクセス</b> あおなみ線「野跡」下車 徒歩 10分</p>			

7

## 藤前干潟(藤前活動センター)

定員: 20名

渡り鳥の中継地、越冬地として数多くのシギ・チドリ、スズガモを中心としたカモ類が飛来する。減少してはいるが、ハマシギの大群が飛翔し、盛んに干潟で採餌する光景は、訪れる人の目を奪う。オオソリハシシギ、ダイゼン、チュウシャクシギなどのシギ、チドリの他、冬はカンムリカイツブリやスズガモの大群が見られる。

**アクセス** 三重交通バス「南陽町藤前」下車 徒歩 10分



8

## 名古屋城一帯

定員: 40名

名古屋城や名城公園などはマツ、クスノキ、ケヤキなどの大木でおおわれ、野鳥の休息に適した場となっている。桜も多く植えられ、花見が終わり葉が出る頃に発生するオビカレハなどの餌を目当てに春の渡り鳥が休息に立ち寄る。また秋にも子育ての終わった渡り鳥が中継地点として通過していく。冬はお堀を中心にユリカモメ、カモやサギの仲間が集まる。

**アクセス** 地下鉄名城線「市役所」下車 すぐ または市バス「名城町」下車 徒歩 5分



9

## 鶴舞公園

定員: 20名

キジバト、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、ツグミ類などが観察される。しかし、周りの都市化が進んでいるこの公園ではヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、カラス類など街中で見られる野鳥が多い。

**アクセス** 地下鉄鶴舞線・JR中央線「鶴舞」下車 すぐ または市バス「鶴舞公園前」下車 すぐ



10

## 神宮東公園

定員: 10名

通年いる鳥は少ない。また、1日に観察できる種類も多くはないが、今までに観察した鳥類(声を聞いたものも含む)は36種類にのぼる。ほとんどが山野の鳥で、水鳥は園内の池で見られるカルガモと上空通過のカワウのみである。今の時季、公園に飛来する鳥(通年いる鳥と冬鳥)は23種類であるが、今回その半分以上は実際に観察可能と思われる。

**アクセス** JR東海道本線「熱田」下車 徒歩 8分 または市バス「神宮東公園」下車 すぐ



11

## 山崎川(忠治橋～豊生橋)

定員: 10名

山崎水処理センター前の山崎川は冬期、カモ類が集中的に集まる貴重な水面である。ポニーテールが可愛いキンクロハジロをはじめヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモなど10種類余りが見られる。春・秋の渡りのシーズンにはオシドリも着水するほか、アオサギ、ユリカモメ、イソシギなども見られ、時には上空を悠々と飛行する猛禽を見かける。

**アクセス** JR東海道本線「笠寺」下車 徒歩 10分 または市バス「南高校」下車 徒歩 3分



12

## 大江川緑地

定員: 20名

緑地の東側を流れる小川をつなぐように2つの人工池がある。池には、常にカルガモ、セキレイ類がいる。オタマジャクシなどが目当てのカワセミを見ることもある。シジュウカラ、コゲラ、ヒヨドリ、カラス、カワラヒワが繁殖し、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイのヒナ連れが見られる。

**アクセス** 市バス「港東橋」下車 徒歩 4分



## 13 東谷山

定員： 10名

植生としては、落葉広葉樹と常緑広葉樹の混在する森であり、北東部側（瀬戸市）は過去の山火事ののちヒノキが植林され、人工林の傾向が強い。鳥類の生息はこの辺りのものと特に変化はないが、渡りのシーズンはタカ類を初め多くの渡り鳥の通過地点となっており、過去には各種の珍しい鳥が観察された記録もある。

**アクセス** ゆとりーとライン「東谷橋」下車 徒歩 20分 または  
市バス「東谷山フルーツパーク」下車 徒歩 15分



## 14 小幡緑地

定員： 40名

ヒサカキなどの常緑低木からコナラなどの落葉高木、アカマツなどの針葉樹などが混在する緑地帯である。また大小4つの池があり、白沢川が池をつないで流れている。池の近くにはマメナンなどの希少樹も生育しており、緑ヶ池東岸にはヨシがあって鳥たちの重要な生息環境となっている。

**アクセス** ゆとりーとライン「小幡緑地」下車 徒歩 5分 または  
市バス「公園北口」下車 すぐ



## 15 矢田川橋緑地

定員： 10名

住宅地に隣接する河川敷ということで、水鳥をメインにごく普通に見られる鳥が多く見られる。そのため、ヒバリ、スズメ、ムクドリ、カワラヒワなど、わりと開けた所を好む鳥が良く見られる。また、河川の中州には、ハクセキレイ、セグロセキレイが多く見られ、コチドリやイソシギなども観察できる。

**アクセス** 名鉄瀬戸線「矢田」 または  
市バス「矢田川橋」下車 すぐ



## 16 明德公園

定員： 10名

夏は野鳥が少ないが、それでも通年観察ができる野鳥は10数種類、秋冬春には30数種類を普通に観察できる。釣り人の絶えない明德池にはいつも数種類の水辺の野鳥が観察できる。冬期にはオオタカやハヤブサ、アカゲラ、アオゲラに会うこともある。

**アクセス** 市バス「明德池東」下車 徒歩 5分



## 17 平和公園一帯

定員： 40名

アカマツ等の常緑針葉樹、コナラ、アベマキ等の落葉広葉樹、ソヨゴ、ヒサカキ等の常緑広葉樹の混生する「市民の森」を中心とした南部地区では、市街地とは思えない多種の野鳥の繁殖の舞台となっている。オオルリ、センダイムシクイ等の渡り鳥の休息地やアオジ、シロハラ等の冬鳥の越冬地として利用されている。猫ヶ洞池では、冬季にコガモを中心とした100羽を越えるカモ達が水に浮ぶ姿が観察できる。

**アクセス** 市バス「新池町」下車 徒歩 3分 または  
地下鉄東山線「東山公園」下車 徒歩 10分



## 18 城山八幡

定員： 10名

城山八幡宮一帯には、クロマツ、クスノキ、サカキ、ヤツデ等の大木や古木が多く生えている。シメ、シロハラといった冬鳥のほか、メジロ、シジュウカラ、コゲラなども観察できる。

**アクセス** 地下鉄東山線「覚王山」下車 徒歩 10分 または  
市バス「末盛通二丁目」下車 徒歩 3分



## 19 猪高緑地

定員： 20名

緑地内はコナラ・アベマキ・シイなどの広葉樹林や竹林となっていて、エナガ、シジュウカラ、メジロなどの小鳥を多く観察することができる。また、緑地の北部に位置する塚ノ杵池を始め大小4つのため池が点在し、カモ類ではカルガモは年中見られ、10月～2月までオシドリが複数見られる。コゲラは年中、アカゲラも冬にかけ見られ、カワセミも観察される。

**アクセス** 市バス「障害者スポーツセンター」下車 徒歩 10分



## 20 東山公園(植物園)

定員： 40名

自然林に囲まれるため、樹林を好む種類が多い。シジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラ、ヒヨドリなどが年間を通じてみられる。冬には、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ルリビタキがみられる。春・秋の渡りの時期には、ヒタキ類、カッコウ類、ムシクイ類、ツグミ類も見られる。調査時間は9時の開園後であるが、早朝には、さらに多く種が生息していると思われる。

**アクセス** 地下鉄東山線「東山公園」または「星が丘」下車 徒歩 10分



## 21 牧野ヶ池緑地

定員： 40名

冬季、池は水鳥の越冬地になっている。カモ類の種類、個体数が最も多く、ヨシガモ・ヒドリガモ・オナガガモ・ミコアイサなどが見られ、他にもハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、クイナ、オオバンなどが観察される。

**アクセス** 市バス「梅森坂口」下車 徒歩 3分



## 22 興正寺

定員： 10名

興正寺境内の林は古くから人の手が加わっていない自然林で、サカキ・ソヨゴ・アラカシ・コナラ・アベマキ・カクレミノ等の広葉樹やアカマツなどの針葉樹の混交林である。なかでもサカキの自然林は市内でも珍しい。林内には「八事山を歩こう会」コースが整備されている。野鳥の種類はあまり多くないが、春秋の渡りの時期には中継地としての役割を果たしている。

**アクセス** 地下鉄名城線・鶴舞線「八事」下車 徒歩 5分



## 23 農業センター・針名神社

定員： 30名

農業センターを中心に大堤池、荒池、針名神社、荒池緑地と四季を通じて野鳥の憩いの場となっている。特に針名神社や荒池緑地では春秋の渡りの鳥の休憩地となっていて、オオルリ、キビタキ等の美声を聞くこともできる。冬季にはヤマガラ、トラツグミ等、山の鳥達も観察でき、荒池ではカモ類が勢揃いし、オシドリやミコアイサなど美しい鳥も観察できる。

**アクセス** 地下鉄鶴舞線「平針」「赤池」下車 徒歩 15分 または  
市バス「平針小学校前」下車 徒歩 5分



## 24 大根池

定員： 10名

池では9種類のカモが確認される。カルガモやカワセミの子育ての姿は池の周囲を散策する人の目を楽しませてくれる。夏には、最近見かけることが少ない、コシアカツバメが4～5羽の群れで巣作り用の土を取っているのを観察できる。

**アクセス** 市バス「溝口」下車 徒歩 5分 または  
市バス「天白公園」下車 すぐ



<p><b>25 相生山緑地</b> <span style="float: right;">定員： 10名</span></p> <p>相生山緑地で繁殖の可能性の高い種としてコゲラ、メジロなど17種が観察される。そのうち、カワセミについては、崖に巣穴を掘るという習性から、森林中にわずかに見られる崖地がカワセミにとって貴重な繁殖場所となっていると思われる。</p> <p><b>アクセス</b> 地下鉄桜通線「相生山」下車 徒歩10分 または 市バス「山根町」「境根」下車 徒歩5分</p>	
<p><b>26 新海池公園</b> <span style="float: right;">定員： 10名</span></p> <p>新海池周辺には桜並木があり、池の上には芝生広場や林があって見晴らしの良い公園である。池の周りでカワセミを時々見ることができ、池にはカイツブリが何羽かおり、冬になればカモ類も入ってくる。芝生広場や林ではハクセキレイやメジロが賑やかである。天気の良い日には上空を飛ぶタカ類が見られる。</p> <p><b>アクセス</b> 市バス「池上」下車 徒歩5分</p>	
<p><b>27 勅使池</b> <span style="float: right;">定員： 10名</span></p> <p>冬季には時々タカの仲間のノスリ、ハイタカ、オオタカが見られる。池には年中カワウが見られる。冬季には珍しいカモでミコアイサ、ヨシガモが見られ、周辺ではベニマシコが見られる。</p> <p><b>アクセス</b> 市バス「みどりが丘公園」下車 徒歩5分</p>	
<p><b>28 水広公園</b> <span style="float: right;">定員： 20名</span></p> <p>林はコナラ、アカマツがほとんどで、所々竹林がある。冬にはドンダリの実が沢山落ちていて、池にはサギ、カイツブリが年中見られ、春や秋の渡りの時期にはヒタキ、ムシクイ類が見られる。冬季にはツグミ類をよく見る。時にはトラツグミを見ることもある。</p> <p><b>アクセス</b> 市バス「水広公園」下車 すぐ</p>	
<p><b>29 大高緑地</b> <span style="float: right;">定員： 20名</span></p> <p>公園周辺の都市化がどんどん進んでいる。2008年4月～2009年3月の調査では、冬、シメ、シロハラが非常に多く観察され、また、アカゲラ・アオゲラの観察機会が多くあった。</p> <p><b>アクセス</b> 市バス「左京山」または 名鉄「左京山」下車 徒歩10分</p>	
<p><b>30 氷上姉子神社</b> <span style="float: right;">定員： 10名</span></p> <p>常緑樹と落葉樹が混在したよく茂った森にはクスノキ、ムクノキ、コナラの大樹も混じる。森の南には畑が広がり、梅やミカンの木も植わっている。主に野山の小鳥が観察され、春にはキビタキ、冬にはルリビタキのかわいい姿が見られる。また冬には、オオタカやノスリが観察され、その食痕も見つかる。一年を通して、ヒヨドリやメジロが多く観察される。</p> <p><b>アクセス</b> 市バス「砂畑」「折戸」下車 徒歩10分</p>	

# 申し込み方法

下記の必要事項を記入し、ファックス、電子メール、はがきにてお申し込みください。  
ファックス、はがきの方は「生きものの一斉調査申し込み」用紙をご利用ください。

## 必要事項

1. 行事名「なごや生きものの一斉調査」
2. 参加者全員のお名前
3. 参加を希望する調査地点（第3希望まで）
4. 代表者の郵便番号・住所・電話番号
5. 代表者のファックス番号・電子メールアドレス  
（お持ちの方のみ記入願います）
6. 参加者のうち子ども（小学生以下）の人数



申込締切

平成24年

1月17日(火) 必着

## 申込先

なごや生物多様性保全活動協議会（事務局：なごや生物多様性センター）

〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地

ファックス番号 052-839-1695

電子メールアドレス bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

切り取り線

## 「生きものの一斉調査」申し込み

- 参加者名（参加者全員のお名前をご記入ください）

【代表者】

- 参加を希望する調査地点（第3希望まで）

【第1希望】

【第2希望】

【第3希望】

- 代表者の連絡先（\*の項目は、お持ちの方のみご記入ください）

〒

住所

電話番号

\*ファックス番号

\*電子メールアドレス

- 子ども(小学生以下)の人数 \_\_\_\_\_ 人

切り取り線

- 応募者多数の場合は、抽選により第2希望・第3希望の調査地点への参加をお願いすることがあります。
- 今回の調査地点以外で、同じ日にご自身で野鳥調査を実施して下さる場合には、申込締切日までに上記の申込先へご連絡ください。調査用紙、説明書等をお送りします。
- 当日は筆記用具、（あれば双眼鏡、野鳥図鑑）をお持ちください。
- 当日は可能な限り公共交通機関でお越しください。

### 募集要項の配布場所

この募集要項は、区情報コーナー・なごや生物多様性センターなどで配布しています。

また、なごや生物多様性保全活動協議会ウェブサイトにも掲載しています。

URL：<http://www.bdnagoya.jp>

\*この冊子は再生紙を使用しています。